

ははたき

社会医療法人財団 白十字会ホームページ

<http://www.hakujujikai.or.jp>



第3回 病院こども探検隊(関連記事4ページ)

ははたき第23号 ● もくじ

■ 糖尿病センターでの取り組み VOL.4 ----- ②	■ 『臨床検査 精度保証施設』として 認証されました ----- ⑥
■ 最新!! 医療機器 不整脈領域における植込み型医療機器 ----- ③	■ 臨床工学部のユニフォームをご紹介します ----- ⑥
■ 合同研修会について ----- ③	■ 白十字会グループ「節電への取り組み」 ----- ⑦
■ 第3回 病院こども探検隊 ----- ④	■ 薬剤部 辻泰弘課長が「日本医療薬学会奨励賞」を受賞しました ----- ⑧
■ 白十字会・佐世保白寿会は 飲酒運転撲滅宣言を行いました ----- ⑤	■ 新任Dr.の紹介 ----- ⑧
	■ 医療情報プラザ(図書室)のご紹介 ----- ⑨
	■ 合同慰霊祭を開催致しました ----- ⑨
	■ 10月の外来診療担当表 ----- ⑩

基本理念

患者様が一日も早く社会に復帰されることを願います。

基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、患者様中心の快適な療養環境を提供いたします。
1. 地域医療機関との連携に努め、市民のニーズに合った診療活動を展開することにより、社会に貢献できる病院を作ります。
1. 職員の総和をもって納得の医療を推進し、患者様から安心され信頼され、愛される病院を作ります。
1. 最新の医学情報と医療設備を導入し、日進月歩の医学に正面から取り組みます。
1. 病院人として社会人として、信頼される人格をもった責任ある人間を育成いたします。
1. すべての職員にとって、かけがえのない価値ある職場であるよう努力いたします。

患者様の権利と義務

1. いかなる差別もなく公平な医療を受けることができる。(受療権)
2. 自身の症状・診断・予後・治療などについて、納得できる説明を受けることができる。(知る権利)
3. 医療者の提案する診療計画など自らの意思で決定することができる。(自己決定権)
4. 個人情報やプライバシーを保護される権利がある。(プライバシー保護権)
5. 他施設の医師に相談することができる(セカンドオピニオン権)
6. 医療者に対し、自身の健康・病状に関する情報を正確に伝える義務がある。(情報提供義務)
7. 病院業務に支障をきたさないよう協力する義務がある。(診療協力義務)

糖尿病センターでの取り組み VOL.4

～薬剤部～

今回は、薬剤部の糖尿病治療への取り組みについて紹介します。

糖尿病教育入院クリニカルパスでの服薬指導

2型糖尿病治療の基本は、食事療法と運動療法です。これらの生活習慣の改善を一定期間継続しても効果が不十分な場合には、薬物療法が開始されます。患者さんの病態に合わせて、インスリンの分泌を増やす薬やインスリンの働きをよくする薬、インスリン注射などの糖尿病治療薬が選択されます。最近、「インクレチン関連薬」とよばれる新しい薬が糖尿病の治療に加わりました。「インクレチン」とは、インスリンの分泌を促す作用をもつ消化管ホルモンで、インクレチンの作用を強める内服薬と、インクレチンに似せて合成された注射薬があり、処方される機会も増えてきています。



インクレチン関連注射薬

しかし、せっかく薬を服用しても、服用時間（食前、食直前、食後など）を間違えると十分な効果が得られなかったり、食事をとらないで薬を飲むと低血糖を起こしたりしてしまいます。そのために、薬剤部では、ベッドサイドや糖尿病教室において、内服薬の作用や服用時間、インスリンの特徴や保管方法などの説明やインスリンの自己注射の手技を確認し、患者さんが安心して薬物療法に取り組めるようサポートしています。

しかし、せっかく薬を服用しても、服用時間（食前、食直前、食後など）を間違えると十分な効果が得られなかったり、食事をとらないで薬を飲むと低血糖を起こしたりしてしまいます。そのために、薬剤部では、ベッドサイドや糖尿病教室において、内服薬の作用や服用時間、インスリンの特徴や保管方法などの説明やインスリンの自己注射の手技を確認し、患者さんが安心して薬物療法に取り組めるようサポートしています。

教育入院の初日には、服用中の薬の飲み方、副作用やアレルギーがないか、服用するうえで何か問題点がないかを確認するために病室へうかがいます。入院中に新しい薬が処方されると、その都度、説明いたします。退院時には、ご自宅にお持ち帰りいただく薬の飲み方や注意点を再度確認します。退院後に初めて外来に診察に来られた際には、薬剤師もお話をうかがいますので、お困りのことがありましたらご相談下さい。日常生活の中で、薬とうまく付き合っていくことができるよう薬剤師と一緒に考えていきましょう。

なお、薬物療法が始まっても食事療法と運動療法が基本ですので、こちらがおろそかにならないようにご注意下さい。

「おくすり手帳」をご存知ですか？

「おくすり手帳」とは、処方されたおくすりの名前や飲む量、回数などの記録です。この手帳を医師・歯科医師・薬剤師が見ることで、どのようなお薬をどのくらいの期間飲んでいらっしゃるのかを確認したり、悪い飲み合わせや同じ薬が重なっていないかを調べることができます。さらに、副作用が現れたことがある薬やアレルギーのある食べ物の名前を書き込んでおくことで、体に合わない薬をチェックすることができます。



おくすり手帳

糖尿病教育入院が終了する時には、この「おくすり手帳」をお渡ししています。他の病院でおくすりをもらう際には、この「おくすり手帳」を活用して下さい。

また、糖尿病教育入院に関わらず、「おくすり手帳」をお持ちの方は、ご入院される際には必ずご持参下さい。

薬についてわからないことや不安なことがありましたら、いつでも薬剤部までお問い合わせください。

薬剤部主任 溝口晶子

不整脈領域における植込み型医療機器

循環器内科副部長 中尾 功二郎

近年、不整脈をお持ちの患者さんに対して、自動的に診断や治療を行ってくれるさまざまな植込み型医療機器が使用できるようになってきています。もっとも代表的なものはペースメーカー(図1)です。脈が遅くなったり、一過性に止まったりすることによって、心不全症状(息切れ、倦怠感)や脳虚血症状(めまい、失神)でお困りの方は植え込みの対象となります。具体的な病名としては、洞不全症候群、房室ブロック、徐脈性心房細動などがあります。また、速やかな電気ショック治療が必要な致死的不整脈のある患者さんには、植込み型除細動器(ICD)(図2)が必要になります。具体的な病名としては、心室頻拍、心室細動などがあります。さらに、不整脈とは直接の関係はありませんが、ある条件をみたした心不全患者さんは、心臓再同期療法(CRT)(図3)の適応となります。これは、ペースメーカーによって心臓の動きを協

調させて心不全の治療を行う方法です。先ほどのICDと組み合わせた両室ペーシング機能付き植込み型除細動器(CRT-D)(図4)といわれる医療機器もあります。心臓の状況をしっかり診て、最適な医療機器を選択することが重要です。一方、REVEAL(図5)といわれる植込み型医療機器も使用可能となりました。これは、不整脈によると思われるめまいや失神があるけれども、症状の出現した時の心電図が記録できておらず、確定診断に至らない方に有効な植込み型の心電図記録器です。最長3年間、不整脈検出が可能ですので、確定診断に至る可能性が飛躍的に高くなります。尚、さまざま植込み型医療機器を紹介しましたが、いずれも局所麻酔下で、前胸部皮下に植込むことが可能です。ただし植込み後は、MRI検査が原則不可能なこと、携帯電話は本体から22cm離すことも留意する必要があります。



〈図1〉



〈図2〉



〈図3〉



〈図4〉



〈図5〉

合同研修会について

臨床研究管理部 部長 平方 尚之

医療の高度化や複雑化に伴い、医療の安全を確保するためには、組織的な管理が重要とされ、その一環として病院職員に対する定期的な教育研修が義務付けられています。

佐世保中央病院では、以前より医療安全・感染制御・医薬品安全・医療機器安全の各担当者が、個々に院内の教育研修を行っていました。2009年度からは、個人情報保護に関する研修も加えて、共同して教育研修を実施し、更なる医療の質の向上に取り組んでいます。

私たちは、患者様にとって安全で安心な医療を提供できるよう日々努力いたします。



合同研修会のようす



第3回

病院こども探検隊



8/4(木)に第3回病院こども探検隊を開催いたしました。当日は、佐世保市を中心に遠くは長崎市・福岡市に在住の小学4～6年生の子供たち26名が参加してくれました。

今回も、手術室やリハビリテーションなど6つの部署を見学し、各部署で様々な体験をしました。

中でも、子供たちに一番人気なのが手術室での「内視鏡手術および電気メス体験」。医師の指導を受けながら、内視鏡手術のトレーニングキットを用いて行いますが、「うまいね」とプロも感心するほどの上達ぶり。若いうち素晴らしい!!

日本の医療の未来を担うかもしれない子供たち。

今回の体験が子供たちの将来を考えるよい機会となり、10数年後に「病院こども探検隊」がきっかけで医療の仕事を目指し、白十字会の仲間として働いてくれたら嬉しいですね。

当日のスケジュール

①手洗いの講義(感染制御部)と実践:講義の後に、グリッターバグでチェック。手洗いNo.1は誰かな?

②内視鏡手術・電気メス体験:こども用の術衣を着て、行います。本格的!!



夢が広がる



⑤臨床検査技術部:血液の細胞を顕微鏡で見ました。

④エコー体験:実際にエコーを当てて、体の仕組みを学びました。

③リハビリテーション体験:片麻痺患者さんの体験や電動車いす、トロミジュースの試飲、認知症予防のタッチパネルを体験しました。

⑥放射線技術部:胃透視の機械に乗りました。CT室では3DCTにビックリ!!



⑦薬剤部:薬の量を正確に測ったり、軟膏を作ったりしました。



毎年参加者を公募しております。対象は小学4～6年生の児童および保護者です。6月ごろに募集のお知らせ、8月の開催を計画していますので、その際は病院ホームページをご確認ください。

白十字会・佐世保白寿会は 飲酒運転撲滅宣言を 行いました

佐世保中央病院は、平成23年7月12日に、「飲酒運転追放と全席シートベルト着用」宣誓を行いました。当日は、植木院長をはじめ5名の職員で佐世保警察署へ出向き、下記の「宣誓文」を植木院長が読み上げました。

佐世保警察署長より「大きな組織(病院)で交通安全に対して取り組んでいただくことを素晴らしいと思います。佐世保住民・地域のために頑張ってください」と感謝と激励の言葉をいただきました。



宣誓文

佐世保署管内に於かれましては、交通事故の増加に伴い、総力を挙げて日々、交通事故撲滅に努められております。

私たちは飲酒運転による交通事故の悲惨さに鑑み、施設職員相互の友愛と協力、社会人としての責任において、率先して飲酒運転を追放するため

- 一、酒を飲んだら絶対に車を運転しない
- 一、車を運転する人には絶対に酒を飲ませない
- 一、シートベルト全席着用の励行

との固い決意のもとに交通事故を防止することを誓い、社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院職員一同が飲酒運転追放と全席シートベルト着用することをここに宣言する。

平成23年7月12日

社会医療法人財団 白十字会
佐世保中央病院
職員一同



7月25日・8月5日に佐世保中央病院にて、職員対象の「安全運転講習会」を行いました。



運転手本人への罰則

酒酔い運転

アルコールの量に関係なく、飲酒により正常な運転が出来ないおそれがある状態で運転すること

**5年以下の懲役または
100万円以下の罰金**

酒気帯び運転

呼気1リットル中のアルコール濃度が0.15mg以上ある状態で運転することです

**3年以下の懲役または
50万円以下の罰金**

『臨床検査 精度保証施設』として認証されました

血液検査や尿検査をはじめとする臨床検査は、疾病の診断・治療に欠かせないものであり、正確性、精密性が担保された検査値を提供することは臨床検査技術部の重要な責務です。臨床検査技術部では常に正確で精密な検査値を提供できるように、精度管理と呼ばれる毎日の機器の点検や検査結果の監視、定期的な多施設との検査値の比較を行っています。

この度、当臨床検査技術部は、標準化され且つ精度が保証された検査値を提供出来る施設として、平成23年度より創設された(社)日本臨床衛生検査技師会の臨床検査精度保証施設として認証されました。この認証は、先に述べました精度管理の実施状況や職員の教育・研修などの審査基準を満たした施設を認証するもので、全国で364施設、長崎県では当院を含め7施設が認証されています(平成23年4月現在)。認証期間は平成23年4月1日より2年間です。

今後も、この認証を継続的に維持し、疾病の診断・治療に有用な正確で精密な検査値を提供できるように努力してまいります。

臨床検査技術部 部長 丸田秀夫



新ユニフォームのご紹介(臨床工学部の巻)

平成21年4月よりME室から臨床工学部と部門名を変更し、現在10名の臨床工学技士が在籍しております。主な業務としては血液浄化業務、手術室業務、医療機器管理業務、温熱療法業務、睡眠時無呼吸外来業務、医療ガス設備管理業務を行っております。



近年の高度先進医療の目覚ましい発展と共に医療機器も複雑化、多様化しており、我々臨床工学技士が医療機器の購入から運用、廃棄まで一貫して管理を行い、患者様はもちろん、現場のスタッフにも安心して頂ける医療機器、臨床技術の提供、現場スタッフへの教育などを行っております。また、部門名変更に伴い、ユニフォームも一新し、医学と工学の両面を併せ持つ職種ということで、病院施設では珍しいタイプのユニフォームを採用いたしました。スタッフからは動きやすかつこいと評判です。

臨床工学部 課長 前田博司

白十字会グループ「節電への取り組み」

当法人グループは、企業における社会的責任(CSR)について6つの部会を構成し、約2年半前から活動を開始しております。

さて、その部会の一つである環境部会において、本年度特に「節電」をテーマにした活動を展開しておりますので、紹介させていただきます。

今年3月11日、未曾有の東日本大震災の後、電力不足による計画停電が関東地方で実施されたことは記憶に新しいことと思いますが、九州地方でも夏と冬の電力不足が懸念されているところです。

そこで当法人では、社会貢献、環境保全のためにも、「節電」に対する意識をさらに高め、具体的な取り組みを始めました。

①環境セミナー

今年5月19日に、長崎県地球温暖化防止活動推進センター(<http://www.nccca.jp/>)から講師を派遣いただき、省エネに関する「出前講座」を、CSR環境部会のリーダー11名全員で受講しました。

その後、当部会のリーダーが講師となり、全職員(施設によっては部門長)を対象に、「節電(省エネ)」セミナーを、6月中旬から7月中旬にかけて開催しました。全施設で、計13回開催し、676名の職員が受講しました。



長崎県地球温暖化防止活動推進センターのセミナーを受講



「節電(省エネ)」セミナーを開催(燦にて)

②節電・自己チェックシートの記入(チェック期間:7/1～8/31)

「節電(省エネ)」セミナーの内容を踏まえて、全職員に冷房・照明・その他の電化製品について、家庭や職場で実践できたことを記載していただきます。さらに、電力会社から送られてくる検針票の7月分と8月分を前年と比較して記載することで、家庭での節電計画の成果を確認していただけるようにしました。また、震災直後の義援金のみならず、継続した支援のお役に立てるよう、職員からのチェック表の提出については1人に付き100円の義援金を法人から拠出することを6月の理事会で決定いたしました。白十字会グループ2,663名が全員参加の精神で、節電と義援金に貢献できるよう努力して参ります。

佐世保中央病院 臨床工学部 (CSR環境部会リーダー) 前田博司



薬剤部 辻泰弘課長が「日本医療薬学会奨励賞」を受賞しました



臨床研究管理部 部長 平方尚之

日本医療薬学会では、医療薬学の研究を奨励するために、優れた研究業績を挙げた若手研究者に対して毎年「日本医療薬学会奨励賞」を贈り表彰しています。

この度、薬剤部の辻泰弘課長が下記の研究で平成23年度の「日本医療薬学会奨励賞」を受賞することが決定し、今年10月の第21回日本医療薬学会年会（神戸国際会議場）において表彰されましたので、御報告申し上げます。

<研究題目>

抗MRSA薬の至適投与法の追究 —薬効評価と副作用解析に関する臨床薬物動態研究—

日本医療薬学会は、今年で設立21年を迎え、会員数は現在8,000人を超え、医療に直結する薬学分野の研究・教育を通して薬剤師の活動を支えることを目的とした学会です。平成12年度からスタートした毎年の学会賞には、功績賞・学術貢献賞・奨励賞・論文賞がありますが、奨励賞受賞者の総数は今回を含め23名で、長崎県では平成18年度に受賞された長崎大学病院薬剤部の藤秀人准教授（現：富山大学大学院医学薬学研究部医療薬学研究室教授）に次いで二人目となります。

研究を行うためには豊富な材料ならびに整った環境も大切ですが、なによりも研究者自身の研究心・研究能力・自己の研鑽・日々の努力が重要であり、今回の価値ある学会賞の受賞は、その成果の証であると考えております。

『受賞者からのコメント』

本研究は、一貫して佐世保中央病院において行った研究の成果と貴重なデータをまとめたものです。研究活動に関して、ご理解とご支援を賜りました植木院長をはじめ、共同で研究を実施させていただきました諸先生方、薬剤部職員ならびに多くの方々に深く感謝申し上げます。大変名誉ある賞をいただきましたが、これに慢心することなく、謙虚な姿勢を忘れずに努力邁進する所存でございます。今後も当院の薬物治療に薬剤部一同で貢献して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

薬剤部課長 辻 泰弘



新任Dr.の紹介

①診療科 ②出身大学 ③卒業年 ④出身医局
⑤認定医、専門医などの種類(学会名)

Ⓐ医師を志したきっかけを教えてください。また、この科を選んだのはなぜですか？ Ⓑ趣味、または特技を教えてください。Ⓒ自己PRをお願いします。Ⓓ最後に患者様へ何か一言お願い致します。

いちのせ くにひろ
一瀬 邦弘 Dr.

- ① リウマチ・膠原病内科(非常勤)
- ② 長崎大学
- ③ 平成12年卒
- ④ 長崎大学第一内科
- ⑤ 日本内科学会認定医
日本医師会認定産業医
- Ⓐ 人の役に立つ資格が欲しかった。手は器用ではないので外科には不向き、全身を診ることのできる内科医になりたかった。
- Ⓑ 軟式テニス、鉄道模型、B級グルメ
- Ⓓ 患者様のお役に立てるよう一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



医療情報プラザ(図書室)のご紹介

佐世保中央病院の新館3階に、医療情報プラザ(図書室)があります。

健康な時は気にならないことも、病気になると「病気のことをもっと知りたい」「どんな事に気をつけて生活をすればいいんだろう」「食事はどんな物がいいのかな」「検査結果の意味がわからない」「家庭でのリハビリってどうするの」など、いろいろな事が気になります。病気の事は主治医に任せるといった考え方もありますが、患者様やご家族が主治医と一緒に病気に向き合うことも大切だと考えます。

そのような時に治療の参考にして頂けるよう、医療情報プラザ(以後、プラザ)には、患者様向けの医学書を多数揃えています。プラザ内での閲覧は勿論ですが、自宅でゆっくり読みたいという方には貸出も行っていきますので、お気軽にお立ち寄り下さい。また、医学書だけでなく、一般図書やDVD、ビデオ、インターネット用のパソコンもありますので、受診の際の待ち時間などにもご利用いただけます。付添の方もどうぞご利用下さい。

入院患者様も、好きな作家の本を手にとり、しばし本の中を旅するのも気分転換になるのではないでしょうか。写真集や絵本、人気の高い池波正太郎や、西村京太郎、赤川次郎のシリーズ物などもあります。プラザにお越しになれない入院患者様へはお好きな本のデリバリーサービスを行っています。サービスをご希望の方は、各階のテイルームに置いている図書一覧の冊子か、ベッドサイドシステムの医療情報プラザ図書一覧からお選び下さい。電話でお申し込み頂くか、病棟の看護師にお申し出いただければ、病室まで担当者がお持ちします。

プラザがあることを知らない、あるいはまだ行ったことがないという方は是非一度ご来室下さい。職員一同、お待ちしております。



開館時間

平日	9:00 ~ 17:00
毎月第3土曜日	9:00 ~ 12:00
デリバリーサービス 平日	9:00 ~ 16:30

合同慰霊祭(平成23年9月10日)を開催致しました

9月10日(土)アルカスSASEBOにおいて、平成23年度社会医療法人財団白十字会グループ合同慰霊祭を執り行いました。平成22年6月から翌年5月までの間に、当法人グループの施設でお亡くなりになられた方々のご遺族の皆様へご案内しましたところ、150名の方々にご参列いただきました。

慰霊祭では、主催者代表として耀光リハビリテーション病院大財院長が追悼の言葉を述べ、参列者全員による献花を行いました。佐世保市民管弦楽団の皆様による献奏、カトリック相浦教会の葛嶋神父様によるご講話があり、涙ぐみながらお聞きになられている方もいらっしゃいました。

ご参列いただいたご遺族の皆様、今後の医療の発展のためご献体に快く承諾いただいたご遺族の皆様、深く感謝するとともに、そのお気持ちを無駄にしないよう、今後も最善の医療、患者様に満足していただける医療を提供できるよう努力して参ります。



外来診療担当表

全診療科予約制

平成23年 10月1日現在		月		火		水		木		金		
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	呼吸器	小林		大島				小林				
	内分泌							安部(非)(再)	大財(非)	藤山(非)		
	骨代謝										藤山(非)	
	腎・透析		浪江						浪江(再)	林(再)	林(再)	
	神経内科	井手・竹尾(再)		竹尾(再) 山崎 (長崎大学担当医)		竹尾		吉村(非)		竹尾(再)		
	リウマチ 膠原病 センター	新患	岩永		佐藤	山崎	植木	寺田	佐藤		植木	
		再来	植木		山崎・岩永		佐藤				寺田	佐藤
糖尿病 センター	新患	藤島				原口		原口		松本		
	再来	松本		松本・藤島	原口	藤島	松本	松本・藤島		藤島・原口		
循環器科	新患	木崎		矢野(非)		中尾		木崎		矢野(非)		
	再来	赤司		中尾・高原・矢野(非)		木崎・赤司		中尾		木崎・矢野(非)		
消化器科	(消化管)	妹尾		楠本	富永(再)・竹島(非・隔週)	小田	磯本(非・隔週)	小田・妹尾		山島		
	(肝胆膵)	草場		木下		楠本		妹尾		木下		
人工透析センター		浪江・林	浪江・林	浪江	浪江	浪江・林	浪江・林	浪江	浪江	浪江・林	浪江・林	
外科	新患	梶原・重政	※	草場	※	碓	※	久永	※	佐々木・羽田野	※	
	再来	碓		清水		菅村		清水・重政		清水・碓		
	特別顧問外来	國崎				國崎						
脳神経外科		阪元	※	※	※	阪元	※	※	※	阪元	※	
		衛藤				平田				衛藤		
心臓血管外科		※	※	柴田	※	※	※	柴田	※	※	※	
				橋本・谷口				橋本				
皮膚科		山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	
小児科		山田	循環器外来 (第2、第4週休診)	山田	乳幼児健診・予防接種	山田		アレルギー外来 (山田)	アレルギー外来 (第4週休診)	山田	乳幼児健診 生活習慣病外来 (隔週)	
		犬塚		犬塚	神経外来 (第1週休診)	犬塚	心身症外来	犬塚	神経外来	犬塚		
泌尿器科	新患	徳永	※	南	※	徳永		南	※	徳永	※	
	再診	南		徳永		南	南(前立腺)	徳永		南		
眼科				上松(非)								
耳鼻咽喉科		大里	※	大里	※	大里	大里	大里	※	大里	※	
		*						*				
放射線科		平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	
		堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	
放射線治療計画						山崎	山崎					
救急総合 診療部	内科系	木下・佐藤	高原・赤司	原口	担当医	山島	山島・妹尾	高原	担当医	赤司	担当医	
	外科系	清水	久永・草場	清水	久永・草場	清水	久永・草場	清水	久永・草場	清水	久永・草場	
メモリークリニック(もの忘れ外来)		井手		井手		井手		井手			井手(再)	
専門外来		インターフェロン(新患・紹介のみ) 木下 14:00~16:00 ペースメーカー 木崎・中尾 第2・第4月曜日14:00~16:00 乳腺 佐々木 第2・第4月曜日14:00~17:00		ストーマ 清水 第2火曜日 14:00~16:00 禁煙 菅村 14:00~17:00 ステントグラフト外来 橋本 午前		乳腺 碓 14:00~17:00 禁煙 菅村 14:00~17:00		CAPD 林和 14:00~15:00 (4週1度・再診) 下肢静脈瘤 柴田 14:00~15:00 睡眠 植木 9:40~10:30 (第3)		乳腺 佐々木 13:30~16:30		
健康増進センター		中尾・寺園		中尾		中尾		中尾		寺園		
		楠本		寺園・尾崎		寺園・三浦		寺園・楠本		尾崎・松永		
乳がん検診		佐々木		碓		佐々木		碓		久永		
健診婦人科(特別顧問外来)		石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸		

※医師の出張等により、休診する場合がございます。受診ご希望の方は予約をお願いいたします。

受付時間 8:30~11:30 / 13:30~16:30

(専門外来・紹介のみ)

診察時間 9:00~12:00 / 14:00~17:00

(専門外来・紹介のみ)

土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。

☆:救急部24時間体制 * :当番医 (非):非常勤 (再):再診
※:主に手術・検査の予定ですが、予定が無い場合は診察いたしますのでご確認ください。

すべての診療科において時間帯予約制をとっております。受診を希望される場合は、コールセンターへ事前にご連絡いただき予約をお取り下さい。

受付時間 月~金曜日 8:30~17:30

予約専用電話番号 0800-7000-888 (通話料無料)

医療機関からの紹介状をお持ちの方は TEL/FAX 0120-33-8293 地域医療連携センターまでお願い致します。(土曜日の8:30~12:30も受付けております)